

仏説阿彌陀經の絵解き その7

「仏説阿彌陀經變相(善光寺蔵版)」
(嘉永元年 森田易信 筆による木版画)

「仏説」とは「お釈迦様」がお説きになったお経という意味。
「阿彌陀經」は浄土三部經の一つで、「阿彌陀仏」と「極樂」について説かれたお経。
「變相」とは「お経に文字で書かれてあることを、絵に変える」という意味。

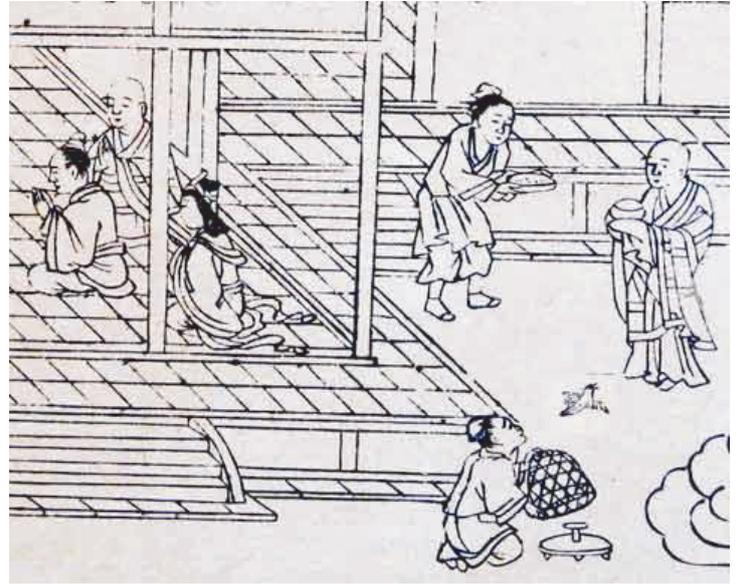
極樂に往生を願う人は、必ず往生できます。
深く信じることをお勧めしています。

右下は鳥を逃がして「放生」をしています。
優しい仏の心を持ち、仏を敬います。

部屋の中では、お坊さんのお説教を熱心に聞いています。
釈迦の教えを聞き、法(お経)を敬います。

右上は 托鉢の僧にお供養をしています。
僧(仲間)を敬います。

仏教の三つの大切な要素である「仏・法・僧」を帰依する(大切にす)生活をお勧め致します。



往生を願う人の生活



境内地に生えるエノキ
樹高 約20m
胸高幹囲 262cm
根回り 435cm

さて冒頭に申し上げましたように、来年バージョンの善教寺法要案内パンフレットが完成しました。タイトルは『浄縁(じようえん)』。浄土と縁を結ぶ...がコンセプト。表紙の写真は、境内地に生えるエノキです。お手元に届くのをお楽しみになさって下さいね。

さて冒頭に申し上げましたように、来年バージョンの善教寺法要案内パンフレットが完成しました。タイトルは『浄縁(じようえん)』。浄土と縁を結ぶ...がコンセプト。表紙の写真は、境内地に生えるエノキです。お手元に届くのをお楽しみになさって下さいね。

住職レター

カープ日本シリーズをテレビ観戦しながら、この寺報を作成しております。こんな時期まで、野球を楽しめるとは思ってもいませんでした。嬉しいことですね。

来年バージョンの善教寺法要案内パンフレットの、住職ごあいさつ欄にも書きましたが、今年もカープのお世話になるご縁が多かったです。

法事にお参りして、法話でカープの話をする、熱心に耳を傾けて下さる。お経後の雑談時、カープの話題になると大盛り上がり。カープのお陰で、すべての関係が良好。寺と門徒のご縁を強固に結んで下さる。カープに感謝。この広島の地に、カープがあつて良かったなと、心から思う、今日この頃です。

善教寺も、カープのように、この地に善教寺があつて良かったなと思われよう、日々精進して仏道を邁進していかなくてはと、改めて思いました。